



定植後の 管理	<p>水遣り：土が乾いたら与える。※水をやり過ぎないこと</p> <p>追肥：1回目は植え付け半月後頃、2回目は1月中下旬、3回目は2月中下旬(極早生)～3月上旬(中晩生)に50g/m<sup>2</sup>程度を与える。</p> <p>特に3回目の追肥は、遅れたり多過ぎることがないように注意する。</p> <p>生育が順調で元気に育っているときは、3回目の追肥を省略してよい。追肥をすると抽台し易くなる。</p>
病 気	<p>・べと病</p> <p>葉の途中から黄色くなり、その部分から葉が折れ下がる。4月から5月上旬に雨天が続き空中湿度が高いと多発する。</p> <p>発病株は見つけ次第、発病部・株を取り除きます。</p> <p>病原菌は土中で10年以上も生存可能と言われ、前年に発生した場合は連作は避けます。</p>

### キャベツ(春取り)の定植

定植時期	11月下旬	
土 作 り	定植2週間前:苦土石灰 100g/m <sup>2</sup> を混ぜ込み深く耕す 定植1週間前:牛糞堆肥 2-3kg/m <sup>2</sup> 化成肥料(8-8-8) 100g/m <sup>2</sup> を混ぜ込む	
定 植	株間:40-45cm 隣同士の外葉が重ならないように株間をとる ※結球するためには外葉を大きく育て太陽光が十分当たることが大事 深植えしないこと 植穴と定植後の灌水はたっぷりやる 定植後の灌水の際、液肥を利用すると根の活着が進む。	
追 肥	1回目:定植10日後 2回目:定植1か月後 3回目:結球期(目安:定植後50日)	化成肥料(8-8-8)を 50g/m <sup>2</sup>

#### 簡単な施肥量の計り方

堆肥	スコップ1杯	約2kg
苦土石灰	1握り	約40g
化成肥料	1握り	約30g
(その他)	1つまみ	約2g

10月から11月にかけての管理作業

野菜名	栽培管理作業
ダイコン	<p><u>間引き</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>本葉が2-3枚の時：2-3株に間引き</b> 同時に速効性化成肥料(8-8-8)を 50g/m<sup>2</sup>程度追肥</li> <li>2. <b>本葉が5-6枚になれば1か所に1株</b> 同時に速効性化成肥料(8-8-8)を 50g/m<sup>2</sup>程度追肥</li> </ol> <p><u>土寄せ</u></p> <p>子葉までの茎が長く株がぐらぐらする場合、<b>株元に軽く土寄せ</b>をしてぐらつかないようにする</p> <p><u>モザイク病対策</u></p> <p>アブラムシの防除につきます。 お勧め薬剤＝「アーリーセーフ」(住友化学園芸) 直接アブラムシに噴霧する。 アブラムシが少なくなるまで噴霧を続けること。</p>
ブリッコリー	<p><u>追肥</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定植後1週間頃：化成肥料(8-8-8)を 60g/m<sup>2</sup>程度</li> <li>・定植後1か月頃：化成肥料(8-8-8)を 60g/m<sup>2</sup>程度</li> </ul> <p>※下葉を大きく茎を太くなるように育てます。</p>
ハクサイ	<p><u>追肥</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定植後 <b>1週間目</b>に化成肥料を 60g/m<sup>2</sup></li> <li>・定植後 <b>3週間目</b>に化成肥料を 60g/m<sup>2</sup></li> </ul> <p>※肥料切れにならないように気をつける</p> <p>下葉(外葉)が大きくなるようにすることが非常に重要です。 <b>8-10枚めくらいまでの葉を大きく育てる</b>ことで大きなハクサイが収穫できます。</p> <p><u>追肥時に中耕する場合の注意</u></p> <p><b>ハクサイの根は地表近くに多いので、細根を切らないように注意</b>すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下葉の肥大が悪い(肥料不足、植え傷み、害虫による食害など)と結球しないことがあります。</li> <li>・早生品種を9月上旬までに植えた場合、11月上旬から収穫できるでしょう。</li> </ul>